

平成28年度 働き方改革推進従業員意識調査

正社員以外の女性従業員調査票

1 この調査票は、正社員以外の女性従業員（パート・アルバイト・契約社員・嘱託社員など）が御回答ください。

2 この調査票に記載された事項については、統計以外の目的に使用しませんので、ありのままに御記入のうえ、別添返信用封筒により、下記実施機関に直接御提出ください。

実施機関 山口県商工労働部労働政策課
電話 083-933-3221 ファックス 083-933-3229

I あなたの働いている事業所とあなた自身のことについて

問1 あなたの従事する企業の業種について記入してください。

業種	1 建設業	2 製造業	3 運輸業	4 情報通信業	5 医療・福祉業	→ <input type="text"/>
	6 卸売・小売業	7 飲食店・宿泊業	8 金融・保険業	9 サービス業	10 その他	

問2 あなたが従事する事業所を含め、本店・支店・営業所等全て合わせた企業全体の従業員の規模を記入してください。

従業員規模	1 29人以下	2 30~49人	3 50~99人	4 100~299人	→ <input type="text"/>
	5 300~499人	6 500~999人	7 1,000人以上		

問3 あなたが従事する事業所の従業員規模を記入してください。

従業員規模	1 29人以下	2 30~49人	3 50~99人	4 100~299人	→ <input type="text"/>
	5 300~499人	6 500~999人	7 1,000人以上		

問4 あなたの職種は、次のうちのどれですか。

- 1 一般事務職 [庶務, 経理, 企画, 調査等事務的業務従事者]
- 2 専門技術職 [保育士, 看護師, 教員, 建築士, プログラマー等]
- 3 生産労務職 [生産部門, 原材料加工, 機械組立修理従事者等]
- 4 販売・サービス職 [販売員, 外交員, 理美容師, 調理人等]
- 5 管理職 [係長クラス以上 (職場において部下を直接指揮監督する者)]
- 6 その他 ()

→

問5 あなたの年齢は、次のうちどれですか。

- 1 29歳以下
- 2 30歳~39歳
- 3 40歳~49歳
- 4 50歳~59歳
- 5 60歳以上

→

II あなたの就業状況・就業意識について

問6 あなたが正社員以外の雇用形態で働いている主な理由を選んでください。(複数回答可)

1 自分の都合の良い時間に働きたいから	2 家計の補助・学費等を得たいから
3 家事・育児・介護等と両立しやすいから	4 通勤距離が短いから
5 専門的な技能等を活かせるから	6 正規の職員・従業員の仕事がないから

→

--	--	--	--	--	--

問7 あなたが仮に再就職をされるとしたら、どのような雇用形態を希望しますか。

1 正社員	2 短時間正社員
3 パート・アルバイト	4 派遣労働者

→

--

問8 問6で回答された雇用形態を希望するその主な理由を3つまでを選んでください。

1 自分の都合の良い時間に働きたい	2 勤務時間・労働日数が短い
3 賃金・待遇が良い	4 安定した仕事に就きたい
5 責任が軽い仕事に就きたい	6 責任が重くやりがいのある仕事をしたい
7 家庭生活や他の仕事と両立しやすい仕事に就きたい	8 資格・技能を活かしたい
9 正規の職員・従業員の仕事がないから	

→

--	--	--

問9 あなたの会社には、正社員への登用制度はありますか。

1 ある	2 ない	3 わからない
------	------	---------

→

--

問10 問9で正社員への登用制度が「ある」と回答された場合、積極的に利用したいと思いますか。

1 利用したい	2 利用したくない	3 わからない
---------	-----------	---------

→

--

問11 問10で正社員への登用制度を「利用したい」と回答された方にお尋ねします。あなたが、登用制度を利用したい理由はなんですか。

1 賃金・待遇が良いから	2 安定した仕事に就きたいから
3 責任が重くやりがいのある仕事をしたいから	4 資格・技能を活かしたいから

→

--

問12 問10で正社員の登用制度を「利用したくない」と回答された方にお尋ねします。あなたが、登用制度を利用したくない理由はなんですか。

1 自分の都合の良い時間に働きたいから	2 責任が軽い仕事に就きたいから
3 家庭生活や他の仕事と両立しやすいから	4 収入を一定に抑えたいから

→

--

Ⅲ 労働時間について

問 13 あなたは現在の勤務先の仕事について、どのように感じていますか。

1 かなり忙しい	2 やや忙しい
3 それほど忙しくない	4 忙しくない

→

問 14 あなたは労働時間の短縮のため、どのような取組が必要だと思えますか。主なものを3つまで選んでください。

1 ノー残業デー、ノー残業ウィークの設定	2 朝型勤務への転換の奨励
3 長時間労働削減のための周知・啓発	4 一人当たりの業務量の平準化
5 時間外労働抑制への一般従業員向け研修会の実施	6 時間外労働抑制への管理職向け研修会の実施
7 その他(具体的に: _____)	

→

Ⅳ 年次有給休暇について

問 15 平成 27 年に取得した年休はあなたの希望どおりに取れましたか。

1 希望どおり取れた	2 大体希望どおり取れた
3 どちらともいえない	4 あまり希望どおり取れなかった
5 希望どおり取れなかった	

→

問 16 取得した年次有給休暇はどのような用途に使いましたか。主なものを3つまで選んでください。

1 旅行・レジャー等の外出	2 家で休養
3 自分の病気・けがの療養	4 家族の病気・けがの療養
5 育児・家事	6 家族の介護
7 自己啓発の学習など	8 ボランティアや地域の活動など

→

問 17 現在と3年前と比較し、年次有給休暇は取りやすくなっていますか。それとも取りにくくなっていますか。

1 かなり取りやすくなった	2 やや取りやすくなった
3 どちらともいえない	4 やや取りにくくなった
5 かなり取りにくくなった	

→

問 18 あなたが年次有給休暇を取り残すのはどのような理由によりますか。主なものを3つまで選んでください。

1 仕事の量が多すぎ休んでいる暇がないから	2 休みの間仕事を引き継いでくれる人がいないから
3 休むと職場の他の人に迷惑になるから	4 職場の周囲が休みを取らず取得しにくいから
5 今の取得日数で十分だと感じているから	6 休んでもすることがないから
7 配偶者や友人と休みの時間が合わないから	8 レジャーや交通費にお金がかかるから
9 仕事から取り残されたような気がするから	10 勤務評価等への影響が心配だから

→

問 19 年次有給休暇の取得促進や労働時間短縮に取り組む上で、課題はどのようなものがありますか。主なものを3つまで選んでください。

1 業務量が多く人手が不足している	2 休んだ人の業務をカバーする体制がない
3 業務の繁閑が激しく突発的な業務が生じやすい	
4 納期や締切にゆとりがなく顧客のノルマが厳しい	
5 一部のの人に仕事が偏ることがある	6 営業時間が長い
7 仕事が終わっても周りの人が残っていると帰りにくい雰囲気がある	
8 従業員の労働時間短縮に関する意識が低い	9 長時間労働が高く評価される風土がある

→

V 仕事と家庭の両立（ワーク・ライフ・バランス）について

問 20 仕事と家庭を両立するためには何が重要であると考えますか、主なものを3つまで選んでください。

1 時間外勤務を少なくする	2 年次有給休暇を取得しやすくする
3 育児・介護、家事等を家族が分担する	4 短時間勤務制度を取得しやすくする
5 出勤時間・退社時間が柔軟に変更できる制度（フレックスタイム制度）を導入する	
6 育児・介護休業制度を利用しやすくする	7 子どもの看護・介護休暇を取得しやすくする
8 職場の管理・監督者や同僚が配慮、協力する	9 保育施設や介護施設の整備、サービスの充実

→

問 21 あなたが仕事と家庭を両立するための取組を実施するに当たって、問題点・課題としてどのようなものがあると考えますか。主なものを2つまで選んでください。

1 国制度や会社制度の周知	2 管理職や同僚の意識改革
3 職場の環境づくり	4 家族や地域の理解

→

VI 女性の活躍について

問 22 あなたは、女性の能力の発揮に当たって、どのような取組が必要であると思いますか。主なものを3つまで選んでください。

1 責任ある仕事を任せる	2 管理職への女性の登用
3 会議等への女性の出席機会の拡大	4 女性に対する教育訓練の充実
5 仕事と家庭の両立支援	6 女性の職域拡大
7 女性リーダー制や女性プロジェクトチームの導入	8 自己啓発の推進
9 管理職や男性従業員の意識啓発	10 人事考課基準を明確に定める
11 正社員への登用	

→

問 23 女性の就業継続（キャリア形成）について、どう思いますか。

1 進めた方が良い	2 できれば進めた方が良い	3 進めない方が良い	→ <input type="text"/>
-----------	---------------	------------	------------------------

問 24 問 23 で「進めた方が良い」又は「できれば進めた方が良い」と回答された方は、その主な理由を2つまで選んでください。

1 女性のキャリアアップにつながることから	2 女性の管理職の拡大につながることから
3 女性が仕事と育児等を両立し活躍できることから	4 特になし

→

問 25 問 23 で「進めない方が良い」と回答された方は、その主な理由を2つまで選んでください。

1 女性が就業継続を希望しないから	2 就業継続を前提とした雇用条件でないことから
3 仕事と育児等の両立が困難なことから	4 特になし

→

問 26 女性の能力の発揮のため、どのような行政施策があれば良いと思いますか。主なものを5つまで選んでください。

1 女性管理職比率の公表の義務化	2 女性に対する意識啓発	3 事業主に対する意識啓発
4 男性に対する意識啓発	5 女性に対する教育訓練の充実	6 具体的な取組等の提示
7 仕事と家庭の両立支援	8 保育サービスの充実	9 女性の起業に対する支援
10 女性管理職比率の義務化	11 男性の育児休業取得の促進	12 企業の取組公表
13 法人税の軽減	14 目標達成企業への助成制度	15 公共調達の優遇
16 長時間労働の削減	17 年次有給休暇の取得促進	

→

Ⅶ 支援ニーズ

問 27 今後、働き方改革を進めるに当たって、どのような支援策があれば良いと考えますか。主なものを5つまで選んでください。

- 1 セミナー・研修会・事例集作成等による普及啓発や気運醸成
- 2 休暇取得促進等の統一的なキャンペーンの実施
- 3 先進的取組企業との交流会
- 4 関連する制度の情報提供
- 5 従業員のキャリアアップ研修等の実施
- 6 企業内における推進リーダー等の養成
- 7 企業に対する助成制度
- 8 企業内の相談体制の整備
- 9 関連制度、普及啓発等の情報を一元化する総合的な情報サイトの構築
- 10 取組優良企業の表彰制度
- 11 仕事と育児や介護を両立する働きやすい職場環境づくりの推進
- 12 従業員に対する助成制度
- 13 その他（具体的に： _____)

→

--	--	--	--	--

問 28 問 27 で「12 従業員に対する助成制度」と回答された方は、どのような制度が必要と思いますか。（複数回答可）

1 若者の雇用・定着や女性の活躍を促進するための制度	2 意識啓発のセミナー・研修会に対する制度
3 キャリアアップを促進するための制度	4 仕事と育児・介護を両立するための制度
5 その他（具体的に： _____)	

→

--	--	--	--	--

問 29 そのほか、働き方改革の取組に関する御意見や御提案などがありましたら、自由に記載して下さい。

_____ 御協力ありがとうございました _____